

やってみよう！ 活かしていこう！ サービス評価



あなたの町で安心して暮らし続けるために…

老いは、誰にでも訪れ、それは一人ひとりの人生にとってかけがえのない実りの時です。

もし、その時、痴呆になったら…。

グループホーム(痴呆対応型共同生活介護)は、痴呆になり家に住めなくなった時、

「自宅にかわる家」として移り住み、専門の職員によるケアを受けながら

「痴呆でも、安心して自分らしく暮らす」それを支えていくことを目的とした

介護保険のサービスです。

企画：高齢者痴呆介護研究・研修東京センター

発行：社団法人 国民健康保険中央会

すべてのグループホームがサービス評価にとりこんでいます

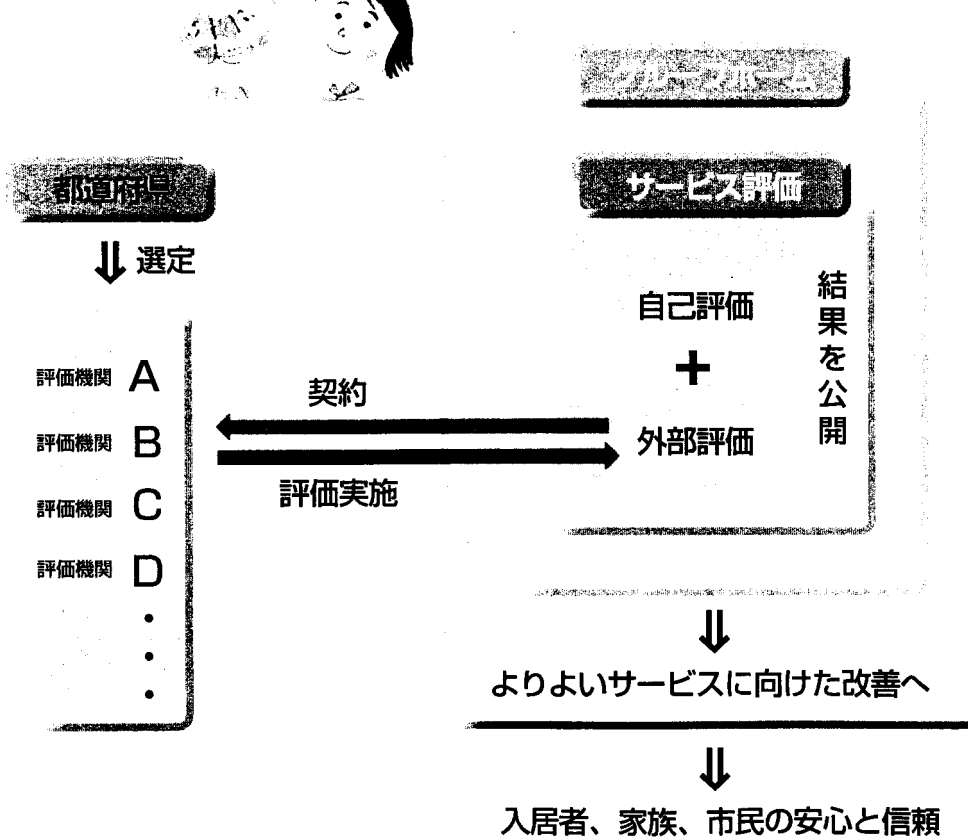
グループホームがその目的を達成し、利用者(入居者)とその家族、そして市民の安心と信頼を高めていくために、すべてのグループホームは、国と各都道府県が定めた標準項目について自己評価と第三者による外部評価が義務づけられています。

評価をもとに対話し、活かしていこう!

サービス評価は、やっただけでは意味がなく、サービスの改善に「活かす」ことがねらいです。評価をきっかけに、職員、入居者、家族、そして市民、行政が対話し、グループホームがよりよくなるよう、評価後の経過を見守りましょう。



すべてのグループホーム 年1回



サービス評価とは

自己評価

～事業者自らが行います～

各グループホームが日頃のサービスを自ら振り返り、評価、改善点を見出すものです。改善点をもとにグループホームが計画をたて、改善に向けた具体的なとりくみを進めていきます。外部評価を受けることで客観性を高め、自己評価を補強していきます。

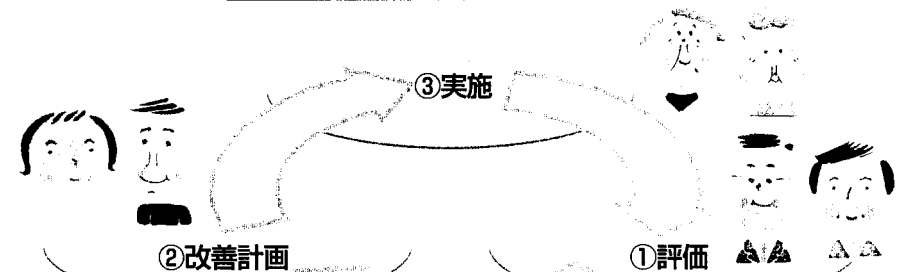
外部評価

～第三者の目で行います～

県が選定した評価機関が調査を行いそれを審査して、各グループホームの特徴、優れているところ、そして改善点を明確化し、報告書にまとめます。調査は、研修を受けた訪問調査員が二人一組でグループホームを訪ね、暮らしやケアをみたり、職員と話し合ったり、記録をみながら行います。事前に利用者のご家族にアンケートを行い、調査や審査の参考にします。

共に年1回は必ず行います(ただし、外部評価は平成16年度までは3年に1回)。結果は、各グループホームが公開します。外部評価の結果の概要は、インターネットで見られます。[ホームページアドレス] <http://www.wam.go.jp/>

評価から改善へ



＜改善計画の一例＞

- ①利用者9人全員の居室の様子と過ごし方を点検し直す。
- ②利用者、家族とのかつての家での暮らしの様子や居室での過ごし方について話し合う機会をつくり、改善点を話し合う。
- ③家族から持ち込んでいただけるもの、グループホームが用意するもの、地域に寄付を呼びかけるものリストアップを行う。
- ④個々に合わせた居室づくりを3ヶ月ごとに実施する。

＜自己評価と外部評価がちがっていた一例＞

評価項目 ※外部評価71項目中の一例です
 ○入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり

自己評価
 できている。要改善点なし。

外部評価
 置かれている家具が一律であり、私物があまり見られない。ご本人、ご家族と話し合いながら、馴染みのものやご本人にとって大切なものを見出してほしい。居室が一人一人にとって安心と自由な過ごし方ができる場となるよう職員全員で検討が望まれる。

町ぐるみで評価を活かそう

～各々の立場でサービス評価を活かし、
わが町のグループホームをよりよいものに～



利用者・家族

- 年1回、評価結果を見てみよう
- ホームが努力している点、課題を具体的にしろ
- 結果をもとにホーム側と前向きに話しあおう
- 改善計画が実行されたか見守り、協力しよう



各グループホーム

事業者

- 外部の目により、組織に新鮮な気づきと活力を
- 結果をもとに、組織一丸となって取り組む改善計画を

職員

- 評価項目を通して、働く上での具体的な目標をしろ
- 結果をもとに、自分達の到達点と課題を明確に

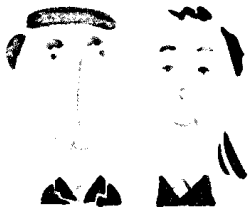
入居を考えている人

- いくつかのホームの評価結果をみてみよう
- 本人にあったホームを選ぶ参考にしよう
- 入居後をイメージし、結果で気になる点を率直にきこう

サービス評価

行政、ケアマネージャー等

- 各ホームの結果を集め、市民向けにみやすい資料を
- 市民への具体的な情報提供の素材として
- 事業者との具体的な対話の機会に



市民

- 評価結果から、わが町のホームの努力と課題を知ろう
- 改善計画が実行されたか見守ろう
- 改善に向けて市民の立場で協力しよう

※家族向けの詳しいパンフレットがあります

問い合わせ先 高齢者痴呆介護研究・研修東京センターサービス評価推進室

TEL: 03-5941-2851 FAX: 03-5941-2852

Email: hyouka@dcnet.gr.jp